高知県介護支援専門員連絡協議会令和2年度ブロック長会議事録

日時:令和3年3月5日17時半〜19時半

場所:web会議(zoom)

参加者:

【ブロック長】高知 大庭氏、中央西　織田氏、高幡 中山氏、東部 山本(千)氏、幡多 福地氏

【県理事】廣内会長、山本副会長、山下副会長、藤原副会長、矢野理事、藤田理事、山崎理事中山理事、北添理事、平林理事、岩下理事

司会：中山

議事録：岩下

1.開会

廣内会長挨拶:コロナ感染症の関係で本年度県協議会活動計画通りにできず、ブロック単位での活動も苦慮されたと思います。コロナ禍でも協議会の体制や今後の運用運営に新たな方法を模索して各ブロックのケアマネのためになる活動していきたいです。

2.報告内容

・令和2年度活動報告

廣内会長(日本協会と四国ブロックの状況報告)

四国ブロック；昨年度全国大会終わった後1回webでブロック会議、今年度11月23日香川県にて四国ブロック研究大会(会場での集合100名とwebで100名以上の合計250名程参加)　ACP(アドバンスケアプランニング)基調講演とシンポジウム　高知県代表シンポジストとして高知市居宅ゆう 乾さんが看取りについて発表

日本協会；今年度介護報酬改定の年　社会保障審議会での議論を中心に話、日本協会の会員と日本介護支援専門連盟が協力し議員へ働きかけ、介護報酬全体的にプラス改定 居宅介護支援費アップできたがケアマネの負担軽減は通らず。年2回支部長会議もweb開催に変更。

日本介護支援専門員協会の居宅介護支援事業所部会四国ブロック代表(廣内)で副部会長

報酬改定についての意見発信と管理者の手引き作成　来年度は管理者の手引き発刊とそれを基にした日本協会での研修予定、来年度改選

藤原副会長(研修部)

5月23日総会後の白澤先生の研修、施設ケアマネ実践講座‥コロナ感染対策のため中止

主任ケアマネスキルアップ研修 2月集合研修予定‥中止したが来年度に延期検討

家族支援の研修‥オンラインで12月12日時間短縮し開催　35名参加

今後も研修はオンラインを中心にしていく。指導者育成研修実施も来年度に持ち越し。

山本副会長(事業部)

厚生調査部；日本協会からのアンケート調査依頼に対応　介護保険施設等に勤務する介護支援専門員の実態に関する調査、新型コロナウイルス感染症による経営の影響、会員拡大に向けた現状把握の調査

広報事業部；ホームページの運営管理、研修会への案内、法定研修での広報活動

山下副会長(事務部)

財務；会費の収入‥総会時の納入できず郵便振込　未納者には葉書にてお願い　高知県から研修事業へのキャリアパス助成金申請する

令和2年8月29日　ケアマネ模擬試験　11名　来年度は講義と模擬試験予定

総務；規約や会則の検討　来年度総会で理事選挙　選挙管理委員会の日程調整中

大庭氏　［高知ブロック］

コロナの関係もあり積極的な活動難しかった。会員への還元を考えていく。

2月20日　県作業療法士会と共同で『zoomを使ってのオンライン研修』他ブロックからも参加あり20名参加　オンラインでのグループワークや発表　　受講証明書が発行できるようなオンライン研修を組み立てていきたい

織田氏　［中央西ブロック］

Zoomでの研修2回開催　6月21日『zoomを使ってオンライン研修を学ぶ』25名参加

11月21日　『紡ぐ物語』(前年度からの延期)　33名参加（ブロック内20名ブロック外13名）

受講証明書発行　県協議会のお知らせに案内を同封できたので全県会員に周知できた。

4月頃中央西サービス事業所にコロナ感染症の対応についてアンケートを取り中央西ブロック内の包括と居宅に参考資料として配布　　中央西ブロック活動委員4名(内2名県協議会理事)で活動について話し合い

中山氏　［高幡ブロック］

2回研修会集合で開催　広い会場で換気に気を配る　　研修準備に幹事会2回

8月2日総会を兼ねて　岡村氏(脳損傷友の会 青い空)　高次脳機能障害の方への関わり方　36名参加(会員21名 非会員15名)

11月11日　本井ゆき氏(しまんと町社協 相談支援事業所)　障害福祉サービスから介護サービスへの移行時のポイント　　27名参加

山本氏　［東部ブロック］

コロナの関係もあり1回しか研修行えなかった

10月28日　『訪問看護について』訪問看護ステーションなかやま楽校

今月3月11日安芸市包括交えて『地域での介護報酬改定の取り組みについて』予定　　昨年に3年計画でケアマネジメント学会の白木先生の研修‥コロナ感染対策のため中止

福地氏　［幡多ブロック］

5月中旬～6月19日書面で総会開催実施　6月20日議案の審議結果を県ホームページ掲載

11月28日　大崎先生(高知大学医学部附属病院 脳神経内科)　『幡多地域に多い難病の症状と治療』研修開催　　幡多地域のケアマネ不足‥どこの市町村何名セルフプランかヒアリングと分析

下川氏［中央東ブロック］報告を山本が代理報告

11月12日　大原隆志氏(香南市地域包括支援センター) 『成年後見制度について利用者等に説明できる基礎知識を習得し事例を通して実践の場の流れがイメージできる』直接参加6名zoom参加 36名

2月25日　尾木朝氏(高知県中央東福祉保健所 地域支援室長)、乾由美氏(高知県立大学総務企画部企画連携課入退院支援事業専任コーディネーター)『コロナ禍における利用者や家族を支援していくための必要な知識の習得について』直接参加19名zoom参加 35名

中央東ブロック総会後に研修会実施 日本一の健康長寿県構想 南国香美嶺北地域推進協議会への参加を予定　主任介護支援専門員との連携　コロナ禍においての安全な研修の企画実施方法を考える

他ブロック長へ　各ブロックで研修会、役員会議事録残しているか？その保管期間は？

高知ブロック　役員会議事録は3年保管　グループラインで打ち合わせ

中央西ブロック　委員は今年度から　議事録残していない　オンラインやラインで会議

　　　　　　　何かしら追跡できる資料があればいいようにしておけば

高幡ブロック　3つの市町村で持ち回り幹事会、会長 一巡したら処分　3年保管

東部ブロック　前ブロック長からの引継ぎ資料なかった　現金は封筒に記載

　　　　　　　現ブロック長からの書類は残っている

幡多ブロック　7年分議事録残っている　USBでデータ管理　理事には書面で配布

・高知県介護支援専門員連絡協議会として来年度から主任介護支援専門員の研修と主任更新研修を行う。

・来年度の方向性についての意見交換会報告と3月理事会での報告結果(執行部)

2月17日（21名）、2月24日（9名）、3月3日（7名）‥来年度の方向性についての意見交換会

質問；年会費の増額や事務局員を雇うことについての予算書は？総会が行われるのか？再度活動内容や予算を話し合うことは可能か？今後はオンライン研修なのか？日本協会との一本化は身近に感じられない　等あり回答している

会長より；協議会の今後の方向性や今までの経過、説明が十分かどうか 参加者が会員の1/10ほど少人数だったため疑問が残る。日本協会一本化、会費の値上げ等提案、会費の値上げは来年度からは理事会にて決定、日本協会への一本化について必要性や意図を説明、会費徴収方法については議論を進め検討し来年度以降に実施したい。

3.検討内容

・zoomを使ってのオンライン研修開催するにあたり県協議会のzoomアカウントの貸し出し方法

ブロック長がホストとなって研修で使うことできるか

→各ブロック研修で使うために　理事がIDパスを管理するなど方法を検討中

・会費上げる　決め方強引ではないか　書面議決内容は令和2年度活動計画　会費変更の記載があったのははじめにのところなので承認あったと解釈はおかしいのでは　きちんと手順を踏んで決めないといけない

会費3000円は会則7条にある　　会則を変更するためには総会の2/3の議決が必要

・介護支援専門員高齢化してきて次の担い手がいない現状　会員数を減らさない組織力を高めていく団結力が必要　　3月のブロック会で会費が上がることを話し合う予定

・会費上がることによって会員が減ることが心配

・書面決議が会則に載っているルールに則ってやった方法かどうか調べる必要があるのではないか

→来年度総会にて会則変更について議案を上げて議決を取るようにする

経過としては もともと今年度までに県協議会を法人化する予定で法人化をして新しい体制を盛り込み皆様に承認を受ける。新しい法人の会則を作る予定だったが、コロナの影響あり法人化までこぎつけることができなかった。結果的に法人化が進んでいないので いまの会則の変更議決が必要となる。会費納入の期間は総会で議決を取った後になる。

・一般社団法人になったら現在の協議会は解散となるのか　現在は各ブロックで運営方法も違っているので、新しいブロックのルールとなると各ブロック長とも話をしていかないと運営が難しいのではないか　現在の活動が法で守られない危惧がある

→新たな法人、定款会則になるが現在の協議会を急に解散することはない　新しい法人のブロック活動の部分は理事会でもまだ討議していない内容なので十分に気を付けて対応していく

・会員の考え意見と食い違いがある

　→会員との意見交換会を今後も行い意見の相違が少なくなるようにしていきたい

次の理事会で話をして総会に上げていく

・協議会が会則に則って運営していくもの　理事会で決めること総会で決めることは会則で分けられている　会則、細則をしっかりみて それに則って決めていくように

4.その他

・今後もブロックで研修の時　県協議会からの郵便物での広報に同封させてもらえるか

　Zoomを使っての研修だとどこからでも参加できるので広く広報したい　会員も研修機会が増えると思う

　→県協議会からの広報ほとんどが葉書でのお知らせ　葉書にＱＲコード貼り付けできる　今後ホームページの活動やメールでの広報案内なども検討している

・今後会議や研修会もオンラインになることが増えると思うので、早めにアカウントの使用や取り組みを決めてもらいたい

　→次回の理事会の協議内容にあげておく

・会員びっくりしている　何かを発信する時に一人一人丁寧な説明をお願いしたい

・会は参加者が最後まで参加できる日程を調整願いたい

　→理事選あり理事が変わっても次に引継ぎしていく

・総会の日程　委員会部会活動しぼられていると思うが委員の選出推薦は？

　→5/13（土）総会　ブロック長と理事　ふくし交流プラザに集まり順に発表　その他の方はオンラインで参加してもらう

　選挙管理委員会…委員の選出は以前の方に継続願っている　　災害…山下副会長 山崎理事で動いているが委員会自体での活動休止　組織会員委員会、厚生調査委員会休止

　部会は休止

次回開催　7月予定